

令和7年（2025年）7月18日

麻しん（はしか）患者の発生について

- 令和7年（2025年）7月16日（水）、宇土市内の医療機関から宇城保健所に麻しん（5類感染症）疑い事例発生の連絡があり、保健環境科学研究所で検査を行ったところ、麻しんの陽性が確認されました。
- 宇城保健所が積極的疫学調査（行動歴等の確認）を行った結果、他者に感染させるおそれがある時期に、下記の施設を利用していたことが分かりました。
- 今回の公表は、当該施設において、患者が不特定多数の方と接触している可能性があるため、広く注意喚起を行うものです。

記

1 患者の概要

男性 会社員（県外在住）

【主な症状】発熱・発疹【予防接種歴】不明

2 患者経過等

7月15日（火） 目の痒みがあり、宇土市内のA医療機関を受診。

7月16日（水） 発疹・高熱の症状があり、再度A医療機関を受診。
麻しんを疑い、保健環境科学研究所で検査を実施。
検査の結果、陽性であることを確認。

3 患者が利用した公共交通機関・施設

日付	時間	施設等
7月14日（月）	7：45～17：30頃	宇土市役所3階
7月15日（火）	7：45～16：00頃	

※公共交通機関の利用なし

4 上記施設を利用された皆様へ

- ・施設へのお問い合わせは、控えてください。
- ・麻しん患者の利用日以外に当該施設を利用された場合は、感染のおそれはありません。（麻しんウイルスは、空気中での生存期間は2時間以内とされています。）
- ・上記施設を同じ日時に利用した方で、利用日から21日以内に発熱、発疹等、麻しんを疑う症状が現れた場合は、速やかに最寄りの保健所に御相談ください。
- ・医療機関を受診する際は、麻しんの疑いがあることの事前連絡及びマスクの着用を徹底いただくとともに、周囲の方に感染を拡げないように、公共交通機関の利用は避けてください。

（裏面あり）

■ 麻疹とは

- ・麻疹は、麻疹ウイルスを病原体とする急性の全身感染症である。
- ・感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後、39℃以上の高熱とともに発疹が出現する。
- ・感染する時期は、発症の1日前から解熱後3日後まで、感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染などで、感染力は非常に強いとされている。
- ・麻疹ワクチンによって予防が可能である。

定期接種 第1期：1歳の1年間（1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで）

第2期：5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間

【麻疹患者報告数の推移】

年次	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
熊本県	1	2	0	0	0	0	0	1 ^{※1}
全国	279	744	10	6	6	28	45	175 ^{※2}

※1：本日（7/18）時点

※2：第28週（7/7～7/13）時点

【お願い】

報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないよう、各段の御配慮をお願いします。

（問合せ先）

健康危機管理課 感染症対策班 担当：松本、徳永

電話：096-333-2240（直通）（内線 33154）